

# 質疑応答

## 建設環境常任委員会

委員長 安本貞敏

### イノシシ被害対応に補助金の大幅増！

付託された議案は全件とも可決及び認定すべきものと決定。その審査の経過並びに結果について主なものを報告する。

#### 商工観光課関係

竜崎温泉の前売り入浴券の旧橋町が売っていた払い戻し分が合併後どの位あるのかとの質問に対して、平成19年度から指定管理者移行後の4年間で、1,757万5,200円の支払いを行っているとの答弁。

竜崎温泉レストランの利用減についての質問に対し、売り上げは平成21年度に比べて31.9%の減との答弁。

#### 農林課関係

イノシシが増え、あちらこちらで被害が出ている。捕獲免許者に補助者を付けて、イノシシを捕る体制を作れないかとの質問があった。

23年度は補助事業費を大幅増の1,000万円の予算で、現在500万円程度の申請を受け付けている。今後はミカンの被害も予想され、申請が多くなると思うとの答弁。また地域でまとめて狩猟免許を取ることはできないかとの質問に対し、免許取得は可能であるが捕獲から捕獲処理も含めて委託料を支払っており、個々で一連の処理ができる事が条件との答弁。

#### 水産課関係

ホイストの利用と管理について質問があった。

#### 建設課関係

大規模農道の道路沿いや、路肩部分の草管理と道路に覆い被さった枝の管理についての質問に対し、今までは県事業で行って来たが、高枝伐採について本年度は町が行う予定との答弁。

#### 上下水道課関係

平成24年度以降の水価安定補助金はどうなるのかとの質問に対し、現在事務レベルにおいて協議しているところであり、1市4町の首長が県知事、県議会議長に要望書を提出したとの答弁。

#### 簡易水道事業特別会計

簡易水道の使用料は不能欠損額に計上できないかとの質問に対し、私法上の債権のため不能欠損がなかなか難しいとの答弁。

#### 下水道事業特別会計

公共下水道の分担金の不能欠損はどういう場合にできるのかとの質問に対し、分担金、使用料とも公法上の債権で5年で時効との答弁。

#### 農業集落排水特別会計

加入率が非常に低い地区があるが、加入促進はしているかとの質問に対し、公報や行政連絡員集会で再度お願いしているとの答弁。

#### 環境施設課関係

衛生センターが古くなり修理費がかさんでいるが、今後の対応についての質問に対し、更新は柳井広域に参加を含め検討中とのこと。

#### 生活衛生課関係

古い住宅の増改築を行っているが、古い町営住宅の払い下げ等を実施してはとの質問に対し、内部で検討を行っているが結論は出していない。今後の検討課題との答弁。

家賃の延滞が発生した場合には、早目に保証人へ連絡するとの答弁。



担当課の説明を聞く